

事例 9 下刈省力化に向けた現地検討会の開催

(関東森林管理局 会津森林管理署)



- 福島県 喜多方市（きたかたし）北唐沢（きたからさわ）国有林
- 下刈省力化現地検討会の様子

関東森林管理局会津森林管理署では、保育コストの削減を図るため、下刈作業の回数の見直しについて検討しています。

具体的には、造林地における植栽木の生育状況と雑草木等の繁茂状況等から下刈実施の要否を判断し、下刈の回数を削減することにより、作業の省力化を図る取組を実施しています。

令和元年度は、下刈を省略した造林地において、省力化技術の検証や民有林への普及等を目的とした現地検討会を開催し、森林管理署の職員のほか、県や市町村、森林組合等の事業体も含めた意見交換を行うことで、下刈省力化に向けた知見を共有しました。

今後、造林等の保育コストの削減について、特定母樹や早生樹等の成長に優れた苗木の活用等も進めることで、更なる技術の実証・普及に努めていくこととしています。